

宗岡中だより



1月号 令和6年1月9日(火)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「夢七訓」新紙幣

校長 林 孝安

新年明けましておめでとうございます。令和6年の元日は穏やかな幕開けとなりましたが、夕刻に能登半島地震、2日夕刻には羽田空港での航空機衝突事故と立て続けに大きな衝撃に見舞われてしまいました。亡くなられた方へのご冥福と、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて今年の干支は「甲辰」です。干支でいう意味は、十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「甲」が持つのは第1位であり、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているとのこと。

(干支の意味 <https://raksul.com/magazine/column/new-year-card-zodiac-2024/> より引用)

よく「1年の計は元旦にあり」という言葉を耳にします。これは、早めに計画を立てた方が良いという意味も込められた言葉です。新たな年を迎え、「今年はこの目標を達成したい」「これに挑戦したい」など、決意新たな生徒も多いと思います。生徒たちには始業式で「埼玉の三偉人(渋沢栄一・荻野吟子・塙保己一)」の一人、渋沢栄一翁の「夢七訓」について紹介しました。渋沢栄一翁は、大河ドラマでその生涯と功績が放映され、今年7月から流通予定の新一万円札に描かれる人物でもあり、多くの書や名言も残しています。

「夢七訓」これは読んで字の如く、「夢がない者は理想がない。理想がない者は信念がない。信念がない者は計画がない。計画がない者は実行がない。実行がない者は成果がない。成果がない者は幸福がない。だから、幸福を得たい人は、まず夢を持ちなさい。」という教えです。宗岡中の生徒が、夢や希望、目標が達成できる1年になるよう、我々教職員は支援していきたいと思います。これから季節性インフルエンザ等が最も流行する時期です。急な対応に対しましては、引き続き地域の皆様、保護者の皆様、ご理解ご協力をお願いします。本年も、昨年同様相変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いします。

夢七訓

夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
故に幸福を求むる者は
夢なかるべからず